



房総信用組合

BOSHIN DISCLOSURE 2012

房 総 信 用 組 合 の 現 況

平成24年度上半期(平成24年9月末現在)経営情報



ごあいさつ



皆様には、平素より房総信用組合に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。誠にありがとうございます。

本年も、平成24年度上半期の事業内容を収めましたミニディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧いただき、房総信用組合へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

今後とも、皆様方のご期待に応えられるよう役職員一丸となって業務に邁進して参りますので、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 白井 和

事業方針

基本理念

房総信用組合は、地域金融機関として、組合を取り巻く人の和を大切に、地域社会に奉仕します。

基本方針

- ・皆（地域の皆様・職員・信用組合）と共に発展する
- ・信用を第一とする
- ・堅実を旨とする

経営情報

平成24年度上半期(平成24年4月1日～平成24年9月30日)における経営情報をお知らせいたします。

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成24年3月	1,587	1,485	101	1,587	100.00	100.00
	平成24年9月	1,687	1,524	163	1,687	100.00	100.00
危険債権	平成24年3月	5,307	3,084	929	4,013	75.61	41.78
	平成24年9月	5,311	3,088	932	4,020	75.71	41.96
要管理債権	平成24年3月	415	133	102	236	56.84	36.40
	平成24年9月	425	133	105	238	56.00	35.96
不良債権計	平成24年3月	7,310	4,702	1,132	5,835	79.81	43.42
	平成24年9月	7,424	4,745	1,201	5,946	80.10	44.84
正常債権	平成24年3月	46,287					
	平成24年9月	46,651					
合計	平成24年3月	53,598					
	平成24年9月	54,075					

※各計数は、単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。(以下 同)

(注)平成24年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急処置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類し、以下の簡便な方法により算出しております。従って、平成24年3月末の計数とは算出方法が異なるため、計数は連続しておりません。

＜平成24年9月末の算出方法＞

- 1.債務者区分については原則として平成24年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準としております。ただし、4月1日から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事由ならびに内部格付による債務者区分の変更等のあった債務者については、当組合の定める基準に基づく債務者区分見直し後の債務者区分によっております。
- 2.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 3.「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計です。
- 4.「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する債権のうち貸出条件を緩和している債権及び3か月以上延滞している貸出債権の合計です。
- 5.「正常債権」の金額は、債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計です。

損益の状況

(単位：百万円)

科目	平成24年9月末	(参考)平成23年9月末
業務収益	1,094	1,034
業務費用	867	877
業務純益	226	157
臨時収益	12	0
臨時費用	80	68
経常利益	158	89
特別利益	—	9
特別損失	—	0
税引前当期純利益	158	97
法人税、住民税及び事業税	2	1
法人税等調整額	0	1
当期純利益	156	94

単体自己資本比率

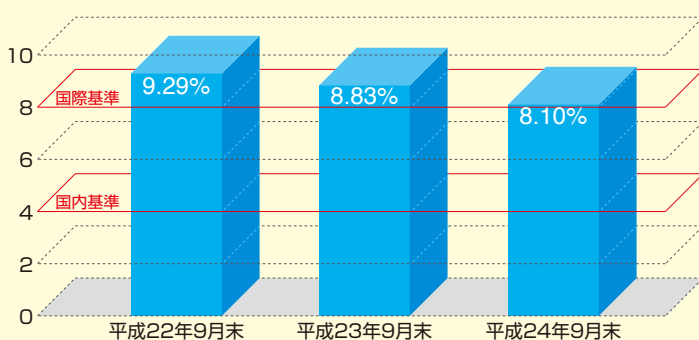
(単位：%)

	平成24年9月末	(参考)平成23年9月末
単体自己資本比率	8.10	8.83

自己資本比率の見方

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産に対して、資本金や引当金等の自己資本の占める割合を表しています。この比率が高いほど、自己資本が豊富にあり経営基盤がしっかりしていると言えます。国内でのみ営業を行う金融機関に対しては4%、国際業務を営む金融機関に対しては8%という基準が定められています。当組合の自己資本比率は8.10%と国内基準を大きく上回ると同時に、国際基準も超えています。

自己資本比率の推移



自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項目	平成24年9月期	平成23年9月期	項目	平成24年9月期	平成23年9月期
(自己資本)			(リスク・アセット等)	—	—
出資金	906	801	資産(オン・バランス)項目	48,936	48,723
資本準備金	—	—	オフ・バランス取引等項目	21	28
利益準備金	710	705	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	3,492	3,589
特別積立金	2,130	2,530	リスク・アセット等計(F)	52,451	52,340
次期繰越金	184	152	単体Tier1比率(A/F)	7.49%	8.00%
その他有価証券の評価差損(△)	—	—	単体自己資本比率(E/F)	8.10%	8.83%
基本的項目計(A)	3,930	4,189			
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	108	108			
一般貸倒引当金	210	327			
補完的項目不算入額(△)	—	—			
補完的項目計(B)	319	435			
自己資本総額(C)=(A)+(B)	4,250	4,624			
控除項目計(D)	—	—			
自己資本額(E)=(C)-(D)	4,250	4,624			

(注)金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

預金・貸出金の状況

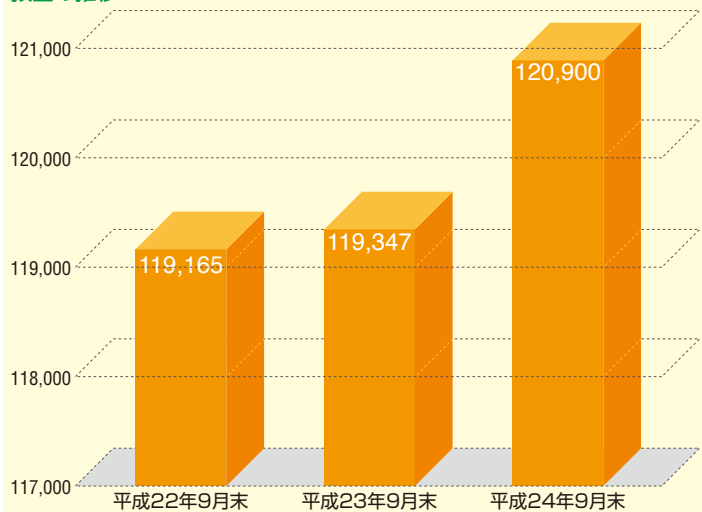
(単位：百万円)

区分	平成24年9月末	(参考)平成23年9月末	区分	平成24年9月末	(参考)平成23年9月末
預金残高	120,900	119,347	貸出金残高	53,963	54,255

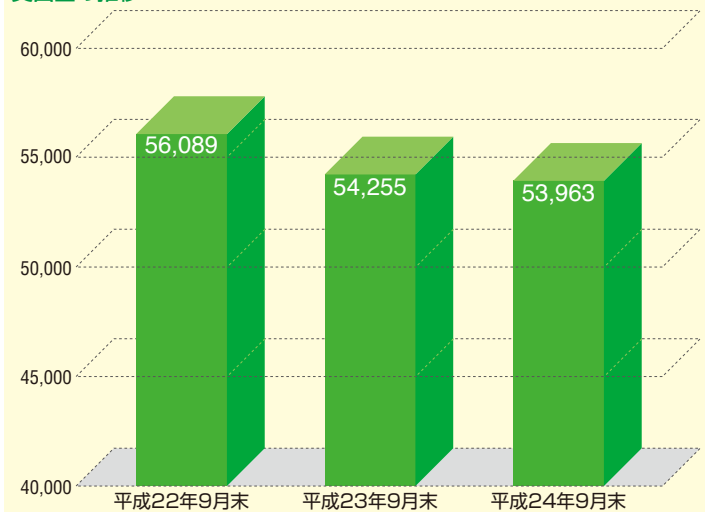
中・小口預金を中心とした預金獲得に努めた結果、前年同期比1,552百万円増加しました。

小口融資を中心に積極的に推進し、資金需要に応えましたが、前年同期比292百万円減少しました。

預金の推移

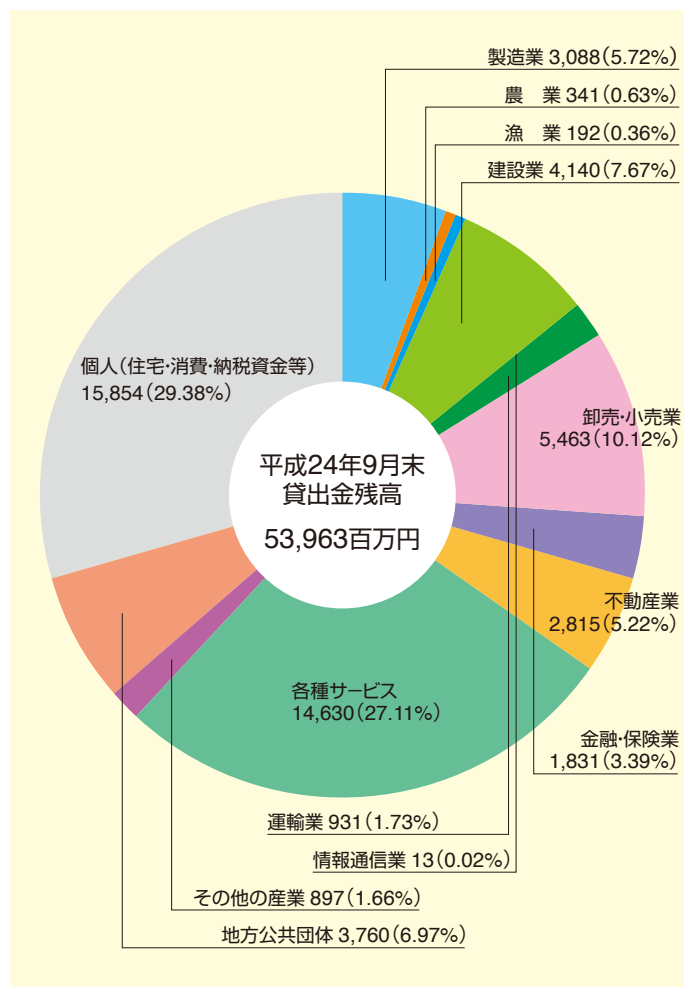


貸出金の推移



貸出金業種別残高・構成比 (単位：百万円、%)

業種別	平成24年9月末		〈参考〉平成23年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	3,088	5.72	3,134	5.78
農業	341	0.63	325	0.60
林業	0	0	0	0
漁業	192	0.36	232	0.43
鉱業	—	—	—	—
建設業	4,140	7.67	3,812	7.02
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	3	0.00
情報通信業	13	0.02	15	0.03
運輸業	931	1.73	649	1.20
卸売・小売業	5,463	10.12	5,316	9.80
金融・保険業	1,831	3.39	1,829	3.37
不動産業	2,815	5.22	2,928	5.40
各種サービス	14,630	27.11	14,809	27.30
その他の産業	897	1.66	1,005	1.85
小計	34,348	63.65	34,060	62.78
地方公共団体	3,760	6.97	3,260	6.01
雇用・能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費・納税資金等)	15,854	29.38	16,934	31.21
合計	53,963	100.00	54,255	100.00



有価証券の時価情報

その他有価証券で時価のあるもの (単位：百万円)

	平成24年9月末					〈参考〉平成23年9月末				
	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額			取得原価	貸借対照表計上額	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
株式	154	144	△10	0	△10	164	154	△9	5	△15
債券	18,648	19,005	357	383	△25	20,632	21,089	457	475	△17
(国債)	6,126	6,293	166	171	△4	5,254	5,426	172	172	0
(地方債)	3,547	3,631	84	84	0	4,548	4,686	137	137	—
(社債)	8,974	9,080	106	127	△21	10,829	10,977	147	165	△17
その他	478	456	△22	5	△28	468	434	△34	0	△34
合計	19,281	19,605	323	388	△65	21,265	21,679	413	481	△67

満期保有目的の債券で時価のあるもの (単位：百万円)

	平成24年9月末					〈参考〉平成23年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	評価差額			貸借対照表計上額	時価	評価差額		
			うち益	うち損	うち益			うち損		
外国証券	1,200	1,099	△100	3	△104	1,200	1,093	△106	—	△106
国内債券	99	106	6	6	—	99	107	7	7	—
合計	1,299	1,205	△94	10	△104	1,299	1,200	△99	7	△106

地域貢献に関する情報

1. 地域貢献に関する経営姿勢

当組合は、茂原市から鴨川市までの外房地域一帯を営業地区とし、地域の事業者や住民が組合員となり、お互いに助け合い発展していくという相互扶助の理念に基づき運営されている協同組合組織の金融機関です。

組合員、お客様一人一人の顔が見えるきめ細かな取引を基本としており、常にお客様の事業の繁栄や生活の質の向上に貢献するため、組合員の利益を第一に考えることを活動の基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

2. 預金を通じた地域への貢献

当組合は、組合員をはじめとする地域のお客様の着実な資産づくりを支援するために、目的や期間に応じた各種預金・積金をご用意しております。平成24年9月末現在、1,209億円の預金をお預りしています。

3. 融資を通じた地域への貢献

当組合は、営業地区内で調達した資金(預金)を地区内の事業者や個人のお客様に対して円滑に供給(貸出)することにより、地域経済の活性化に努めることが最大の地域貢献と考え、積極的に融資業務に取り組んでおります。

(1) 貸出先数・金額(平成24年9月末現在)

区分	先数(先)	貸出残高(百万円)	内 訳 (百万円)	
事業者	1,436	34,348	(設備資金) 14,760	(運転資金) 19,588
個人	4,295	15,855	(住宅資金) 9,218	(消費者ローン) 1,489
地方公共団体	12	3,760		
合計	5,743	53,963		

(2) 地方自治体の制度融資の取扱状況

当組合は、千葉県や茂原市など地区内各市町村の中小企業向け制度融資の取扱窓口に指定されており、平成24年9月末現在、937件、3,532百万円のご利用を頂いております。

制度の名称	取扱件数(件)	貸出残高(百万円)
千葉県事業振興融資資金	571	2,231
千葉県その他制度融資資金	13	115
千葉県短期運転資金	124	505
市町村等制度融資	229	681
合計	937	3,532

(3) 当組合の融資商品の概要

当組合では、事業者や個人の資金ニーズにお応えするため、次のような融資商品を取り扱っております。

① 事業者向けご融資

種類	概要
証書貸付	主に設備資金などご利用いただく長期のご融資です。
手形貸付	主に運転資金などご利用いただく短期のご融資です。
手形割引	一般商業手形の割引です。
当座貸越	一定の貸越極額まで自由にご利用いただける当座預金の貸越契約です。

② 個人向けご融資

種類	資金のお使いみち	ご融資金額(上限)	ご融資期間(最長)	担保・保証
住宅ローン	住宅の新築・増改築・購入	6,000万円	35年	不動産・保証人または保証会社
オートローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	500万円	7年	保証会社
カーライフローン	自動車等の購入・車検・免許取得費用	500万円	8年	保証会社
カーライフローン・リポート	自動車等の購入・車検・免許取得費用(お取引のあるお客様向け)	500万円	7年	保証会社
カードローン	事業資金以外の健全な消費資金	300万円	3年(自動更新)	保証会社
スーパーカードローン	事業資金以外の健全な消費資金	70万円	3年(自動更新)	保証会社
多目的ローン	商品・サービス代金の支払い	300万円	7年	保証会社
目的ローン	事業資金、旧債返済資金以外で資金使途が明確な資金	500万円	7年	保証会社
フリーローン	事業資金、旧債返済資金以外の消費資金	300万円	7年	保証会社
教育ローン	教育資金全般	200万円	10年	家族保証
進学ローン	入学金・授業料・下宿代等の支払い	300万円	10年	保証会社
シルバーライフローン	健康で、文化的な生活を営むための資金	100万円	5年	保証会社
ぼうしんパートナーズ	運転資金、設備資金等の事業資金	500万円	5年	保証会社
バリアフリーローン	介護のための増改築、介護機器福祉車両等購入資金・施設入居費用	500万円	10年	保証会社
司法書士研修費用専用ローン	新人研修特別研修の授業料、教材費等の資金	100万円	5年	保証会社

地域貢献に関する情報

4.取引先への支援状況等

当組合は、地域経済の活性化、振興への貢献活動として、創業・新事業支援や要注意先債権等の健全化に向けた取組みの強化、経営改善支援・事業再生支援などに取組んでおります。

(1)創業・新事業支援

新規・独立開業や、取引先企業の新分野進出に対する資金ニーズについては、当組合のプロパー融資や政府系金融機関の代理貸付の提案、地方自治体制度融資などの利子補給制度を積極的に推進しております。

(2)要注意先等のランクアップの取組み

要注意先債権等の健全債権化及び不良債権の新規発生防止を図るため、本部・営業店・(社)千葉県中小企業診断士協会が連携を継続し、経営改善の可能性のある取引先を選定し、経営改善指導等の支援を行っております。

(3)経営改善支援・事業再生支援

取引先企業の経営改善を図るため、経営改善計画の策定、貸出条件の緩和などの金融支援を行ない、過剰債務の解消・支援に向けて取引先企業と協調して取組みを継続しております。(社)中小企業診断士協会との連携は通期に亘り対象先の見直しを行ない、組合の支援基準・マニュアルの制定によりきめ細かい支援・指導を実施しております。

(4)事業継承等の支援

取引先並びに地元中小企業の円滑な事業継承の支援、並びに専門家を活用したコンサルティング機能の発揮を目的とした「後継者塾」をTKC千葉会と共催により支援を行ってまいります。

5.地域へのサービスの充実

当組合では、地域の皆様への感謝を込めた企画や、ご利用者の利便性向上に努めております。

特に、ご高齢のお客様には色々な特典付商品をご用意しております。

- ・懸賞金付普通預金(年金口座)「心づくし」
- ・懸賞金付定期預金「福運」
- ・優遇金利+懸賞品付定期預金「100歳100歳」

組合員様限定商品をご用意しております

- ・ご優待定期預金 ぼうしんメンバーズ・プレミアム (期間限定)

営業地区内店舗数…16店舗、ATM設置台数21台

6.文化的・社会的貢献活動

当組合は、金融業務を通じた地域貢献だけでなく、色々な分野で地域のお役に立ちたいと考え、たとえば次のような活動を行っております。

- ・ごみゼロ運動……全職員が各店別に毎月1回の早朝路上清掃活動を行っております。
- ・しんくみの日週間…9月8日に『しんくみの日』を記念して、午前中当組合本店ロビーを会場に午後は、献血会場を茂原市東部台文化会館に移し「献血運動」を実施しました。今年で5回目となりましたが役職員50名のほか一般の方からも献血に協力をいただきました。次年度も継続していきます。
- ・しんくみの集い……9月8日午後、献血会場の茂原市東部台文化会館で、2012年国際協同組合年記念事業「しんくみの集い」として経済アナリスト・独協大学経済学部教授の『森永 卓郎』氏による記念講演『日本を元気にするライフスタイル』を開催し、300名以上の参加を頂きました。
- ・茂原七夕まつり、一宮かずさ祭りへの参加や各地区で開催される商工祭やイベントを積極的にお手伝いしております。



献血運動



しんくみの集い

7.休日融資相談会の開催

お仕事などの都合で平日にご来店いただけないお客様のために、休日融資相談会を毎週日曜日及び祝日(但し、1月1日～3日、5月3日～5日を除く)に開催しております。事業資金や個人ローンを中心に様々なご相談をお受けしますので、お気軽にご相談下さい。

なお、事前にご予約の受付もいたしております。

相談窓口：本店(茂原市高師町1-10-5)

予約連絡先：0475-22-6111

開催時間：午前10時～12時、午後1時～4時

◆相談・苦情窓口

相談・苦情受付ホットライン



フリーアクセス

0120-940-339

までお願いします。

地域密着型金融推進計画(平成24年4月～25年3月)

I.基本計画

当組合の地域密着型金融推進計画は、限られた営業地域で組合員の方々を対象とし相互扶助の精神に則って金融業務にあたる「信用組合」の特性を十分踏まえて立案しています。

すなわち、地域経済の発展、組合員の事業の繁栄、豊かな家庭生活のお手伝い、という信用組合の基本的な目的を前提とし、地域経済の活性化を総合的に図っていくこと、地域に根ざした密度の濃いコミュニケーションをベースに、新しいビジネスモデルも含めた金融仲介機能の拡充、収益力強化による金融機関としての健全性維持向上、積極的な情報開示等広報活動を通じた理解度信頼度の向上等に重点を置いた計画としました。

II.項目ごとの推進計画

1.顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

項番	取組方針	具体的な取組策	24年度上期の取組結果
(1)	・顧客企業自身の課題認識を深めつつ、主体的な取組みを促し、最適なソリューションの提案に努めます。	・中小企業診断士、税理士、経営相談員等からの助言・提案の活用により、最適なソリューションの提案に取組めます。 ・中小企業再生支援協議会との連携を強化し、事業再生支援に取組めます。	・経営改善支援先25先のうち、専門家(中小企業診断士、税理士)及び中小企業再生支援協議会との連携による支援15先を選定し、事業再生支援に取組んでおります。
(2)	・事業継承に必要な後継者の育成及び相続対策を支援します。	・TKC千葉会等との連携により、後継者育成や相続対策の支援に取組めます。	・TKC千葉会との連携により、後継者塾開催による後継者支援を実施しております。14名の参加により、3回実施致しました。

2.地域の面的再生への積極的な参画

項番	取組方針	具体的な取組策	24年度上期の取組結果
(1)	・当組合の情報網や店舗網を活用し、地域の活性化に向けた取組みに対して積極的に役割を果たします。	・地方公共団体、商工関係団体等との連携強化により、地域の活性化に向けた取組みに積極的に参画します。	・地方公共団体、商工関係団体等の地域活性化に向けた取組についての情報を収集致しました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

項番	取組方針	具体的な取組策	24年度上期の取組結果
(1)	・地域密着型金融の取組みや当組合の各種商品・サービスなどについて、地域や利用者に対して情報を発信することにより地域金融機関としての評価を確立します。	・地域密着型金融に関する取組みについて、ホームページ、ディスクロージャー誌に掲載して、情報発信します。 ・研修会の開催により、振り込め詐欺に対する防止を図ります。 ・経済講演会等を実施し、地域住民や利用者の金融知識の向上に努めます。	・経済アナリスト・独協大学教授の森永卓郎氏による経済講演会を9月8日実施致しました。



房総信用組合

〒297-8611 千葉県茂原市高師町1-10-5

TEL:0475-22-5111

ホームページ <http://www.boshin.shinkumi.jp>

Eメール boshin@peach.ocn.ne.jp

店舗一覧

本部	茂原市高師町1丁目10番地5 TEL:0475(22)5111 FAX:0475(23)9777
本店	茂原市高師町1丁目10番地5 TEL:0475(22)6111 FAX:0475(22)6112
本納支店	茂原市本納1773番地 TEL:0475(34)3302 FAX:0475(34)3318
一宮支店	長生郡一宮町一宮3089番地 TEL:0475(42)2061 FAX:0475(42)2071
長南支店	長生郡長南町長南2474番地の4 TEL:0475(46)1159 FAX:0475(46)1303
夷隅町支店	いすみ市苅谷189番地の1 TEL:0470(86)2150 FAX:0470(86)3689
町保支店	茂原市町保42番地の22 TEL:0475(24)2321 FAX:0475(25)4800
岬支店	いすみ市岬町長者183番地の1 TEL:0470(87)2214 FAX:0470(87)7696
大原支店	いすみ市大原9231番地の3 TEL:0470(62)2225 FAX:0470(63)1807
白子支店	長生郡白子町五井1708番地の1 TEL:0475(33)3612 FAX:0475(33)3594
岬東支店	いすみ市岬町椎木1781番地3 TEL:0470(87)3166 FAX:0470(87)5971
茂原支店	茂原市茂原347番地 TEL:0475(24)3335 FAX:0475(24)3337
鴨川支店	鴨川市横渚885番地の1 TEL:04(7092)1221 FAX:04(7093)1277
天津小湊支店	鴨川市天津1212番地の4 TEL:04(7094)0173 FAX:04(7094)0159
長狭支店	鴨川市松尾寺435番地の6 TEL:04(7097)1131 FAX:04(7097)1130
勝浦支店	勝浦市勝浦28番地の1 TEL:0470(73)0025 FAX:0470(73)0099
御宿支店	夷隅郡御宿町須賀450番地の6 TEL:0470(68)2731 FAX:0470(68)2115